

いのちの尊厳と
人間愛に根ざした
医療の実現を・・・

HIGASHIHIROSHIMA
MEDICAL CENTER

病院
案内



独立行政法人国立病院機構
東広島医療センター

National Hospital Organization Higashihiroshima Medical Center

独立行政法人 国立病院機構 東広島医療センターとは

当院は、昭和14年に傷痍軍人広島療養所として発足し、平成16年4月には厚生労働省国立病院部から独立行政法人に移行し、東広島医療センターへと改称し現在に至っています。

当院の役割としては大きく分けて二つあり、その一つは国立病院機構の責務として国の政策医療を支え推進していくことです。当院は、がん、循環器病、呼吸器疾患、内分泌・代謝性疾患に関する専門医療施設として位置づけられており国立病院機構のネットワークと連携をとりつつ最新医療を提供します。

もう一つの役割は、地域の皆様・行政および医師会などの協力のもと、医療圏における中核病院・急性期病院としての診療機能を果たすことです。



病院の理念

いのちの尊厳と人間愛に根ざした、
誠実で親切な、患者さん中心の医療を行います。



● 基本方針

- ① 国立病院機構の責務として、政策医療の推進に積極的に努めます。
- ② 常に研鑽に努め、地域医療機関と連携し、高度な専門医療を提供します。
- ③ 和をもったチーム医療を実践し、良質で効率的な医療を目指します。
- ④ 常に経営意識を持ち、サービス向上をめざした健全経営に叡智を結集します。
- ⑤ 科学的根拠に基づいた医療を行い、患者さんの信頼と満足が得られる病院をめざします。

● 患者さんの権利

- ・個人として常にその人格や価値観を尊重される権利
- ・良質な医療を平等に受ける権利
- ・十分な説明を受け、自分の意思で決定する権利
- ・自分が受けている医療について知る権利
- ・個人のプライバシーが守られる権利



病院概要

■ 病床数

医療法上の許可病床 401床 一般385床・結核16床

収容可能病床 401床 一般385床(うち感染4床・周産期47床)・結核16床

1病棟(40床、うち有料個室A 5床、有料個室B 5床、感染症ユニット病床20床)

2病棟・ICU・CCU(60床、うちICU・CCU 8床、有料個室A 5床、有料個室B 7床)

3病棟(60床、うち有料個室A 5床、有料個室B 7床)

4病棟(54床、うち有料個室A 5床、有料個室B 7床)

5病棟(60床、うち有料個室A 5床、有料個室B 7床)

6病棟(60床、うち有料個室A 5床、有料個室B 7床)

7病棟・NICU(47床、うちNICU・6床、有料個室C 15床)

■ 認定・指定施設一覧(公的機関等)

- ・地域がん診療連携拠点病院
- ・地域医療支援病院
- ・地域周産期母子医療センター
- ・日本医療機能評価機構認定病院
- ・臨床研修指定病院
- ・広島県地域災害拠点病院
- ・広島県DMAT指定病院
- ・厚生労働省薬剤師実務研修事業研修生受入施設

■ 標榜診療科(24科)

- | | | | | | |
|-------------|----------|--------|------------|--------------|---------|
| ● 内分泌・糖尿病内科 | ● 精神科 | ● 腎臓内科 | ● 脳神経内科 | ● 呼吸器内科 | ● 消化器内科 |
| ● 血液内科 | ● 循環器内科 | ● 小児科 | ● 外科・消化器外科 | ● 整形外科 | ● 脳神経外科 |
| ● 呼吸器外科 | ● 心臓血管外科 | ● 皮膚科 | ● 泌尿器科 | ● 産婦人科 | ● 眼科 |
| ● 耳鼻咽喉科 | ● 歯科 | ● 麻酔科 | ● 放射線科 | ● リハビリテーション科 | ● 病理診断科 |

認定・指定病院一覧(公的機関等)

地域がん診療連携拠点病院

わが国に多いがん(肺がん、胃がん、大腸がん、肝がん、乳がんなど)に対して、質の高い、がん医療を全国どこでも等しく受けることができるよう、国から指定された医療機関です。

地域周産期母子医療センター

日本の厚生労働省が整備を進めている産科と小児科等を備え、周産期に係る比較的高度な医療行為を行うことができる医療施設のことです。地域周産期母子医療センターに準じた医療行為を行うことができ、地域の産科と小児科の拠点の医療機関として整備されている医療機関です。

臨床研修指定病院

医学部を卒業し、医師免許を取得した医師(研修医)が卒後2年間、基本的な手技、知識(初期研修)を身につけるため籍を置き経験を積む場を提供する医療機関です。

広島県DMAT指定病院

DMATとは、医師・看護師・業務調整員(救急救命士、薬剤師、コメディカル、事務員等)で構成され、地域の救急医療体制だけでは対応出来ないほどの大規模災害や事故などの現場に急行する医療チームのことです。当院は、1チームを備え、広島県からDMAT指定病院として認定されています。

地域医療支援病院

患者さんの身近な地域で医療を提供することが望ましいという観点から、かかりつけ医(地域の病院や診療所)を第1線の医療機関として位置付け、かかりつけ医を支援し二次医療圏での地域医療の充実・地域連携の強化を図る病院として医療法で定められた医療機関です。

日本医療機能評価機構 認定病院

医療機関の機能を学術的観点から中立的な立場で評価することにより、その明らかとなった問題点を明確にし、改善の成果の認められる病院として認定を受けた医療機関です。

広島県地域災害拠点病院

風水害、大地震や大津波等の大規模かつ広域的な災害発生時に備えるべく各地域の初期救急の中心になる病院として都道府県が指定しています。医薬品の備蓄、水や電気などライフラインの確保、耐震化構造などの要件があります。災害発生に備えた設備や機能を充実、各機関と連携して医療救護活動を実施する病院として認定されています。





病院フロア図

■病院配置図



6F

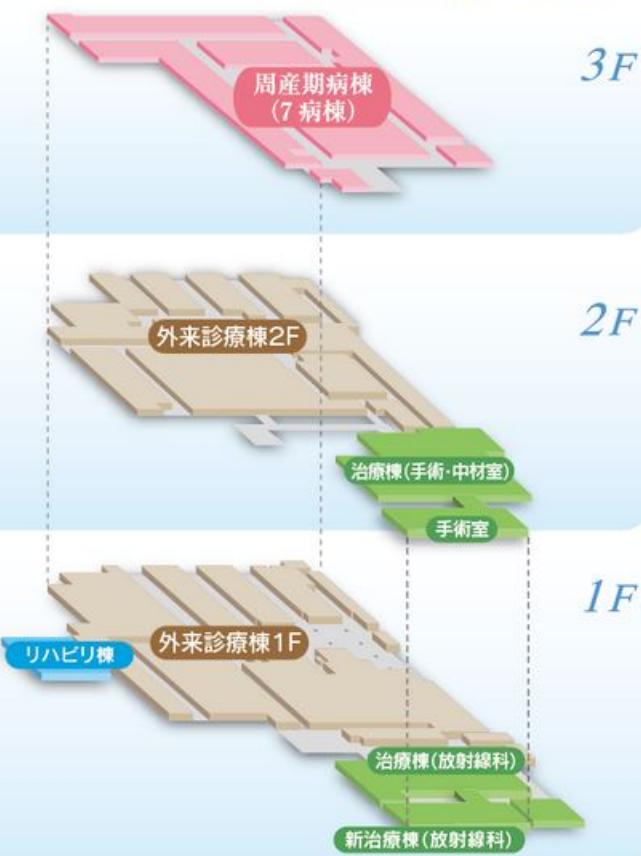
5F

4F

3F

2F

1F



質の高い医療人材と設備を駆使し、患者さんに安心と信頼を提供します。

東広島の医療拠点としての役割を十分に果たすべく、新外来が本格稼動。すでに完成している病棟と合わせ、これまで以上のホスピタリティで患者さまをお迎えいたします。



外来診療棟

- 地上3階建て ※3階に7病棟
- 総床面積 延べ12,192平方メートル

玄関から受付、各診察室まで全て段差のないバリアフリー設計。車イスをご利用の方やご年配の方にも安心してご来院いただけます。

受付/各科外来/救急棟/医療相談センター/臨床検査科/薬剤科/各種検査室/栄養相談室/7病棟(47床)

3階には周産期病棟7病棟があります。

病棟 (1病棟~6病棟)

- 地上6階建て
- 総床面積14,695平方メートル

光ふりそぐ大きな窓から大沢田池を望むことが出来ます。自然を感じながら治療に専念していただく環境を整えております。

1病棟(40床、感染症ユニット病床20床)/2病棟(60床うちICU・CCU8床)/
3病棟(60床)/4病棟(54床)/5病棟(60床)/6病棟(60床)





治 療 棟

- 地上2階建て
- 総床面積2,926平方メートル

放射線科/放射線治療室/手術室



リハビリ棟

- 地上1階建て
- 総床面積 延べ570平方メートル

自転車エルゴメーター、レッグプレス、各種装具・歩行補助具、チルトテーブル、重心動描計、ホットパック、渦流浴装置、マイクロ波治療器、介達牽引装置



新 治 療 棟

- 地上3階建て
- 総床面積 延べ2,215平方メートル

放射線科/手術室



大沢田の名は、病院前にある大沢田池に由来します。
古くは大藏田池と言われて
いましたが、今では大沢田池
の呼称が一般的になって
いるようです。



沿革

【東広島医療センターの沿革】

昭和 14年 2月 傷痍軍人広島療養所として開設
20年12月 厚生省に移管、国立広島療養所と改称
22年 4月 日本医療団の国立移管に伴い、
　　国立畠賀療養所及び国立原療養所が当所
　　の分院となる
26年 4月 国立原療養所が独立
27年 4月 国立畠賀療養所が独立
40年 3月 一般病床150床承認
41年 4月 救急病院の指定を受ける
45年 4月 国立療養所広島病院と改称
60年 3月 「国立病院・療養所の再編成・合理化の
　　基本指針」発表
61年 1月 「広島病院と畠賀病院」を統合する
　　再編成の全体計画公表
平成 12年 9月 統合新病院にかかる基本構想発表
13年 3月 統合新病院にかかる基本計画発表
13年12月 「畠賀病院」と統合し、新しく「国立療養
　　所広島病院」が発足
　　(一般350床、結核100床)
14年 1月 特定集中治療室(ICU 4床、CCU 4床)承認
15年 6月 一般 31床増床に伴い1ヶ病棟開棟
　　(一般 381床、結核 100床)
15年10月 CCU 2床承認(ICU 4床、CCU 6床となる)
16年 4月 厚生労働省から独立行政法人に移行
　　「独立行政法人 国立病院機構 東広島医療
　　センター」に改称
17年 3月 結核病棟1ヶ病棟に集約(50床で運用)

18年 8月 日本医療機能評価機構認定病院となる
　　地域がん診療連携拠点病院に指定
18年12月 特定集中治療室(ICU4床、CCU4床となる)承認
19年10月 結核病床50床に変更承認
20年 9月 新病棟(360床)へ移転
21年 8月 地域医療支援病院承認
22年 4月 DPC対象病院となる
23年 9月 広島県DMAT指定病院となる
24年 2月 外来診療棟及び、周産期医療センター竣工
24年 3月 病床再編成及び感染病床4床増床(一般381床、結
　　核16床、感染4床 計401床で運用、休床34床)
　　広島県地域災害拠点病院に指定
24年 7月 新生児特定集中治療室(6床)承認(NICU)
24年10月 地域周産期母子医療センターとなる。
30年 4月 医療法401床(一般381床、結核16床、感染4床)に変更。

【旧 国立療養所畠賀病院の沿革】

昭和 8年10月 広島市畠賀病院として発足
18年 4月 日本医療団創設により
　　日本医療団畠賀病院となる
22年 4月 厚生省移管、国立広島療養所の分院となる
27年 4月 国立療養所畠賀病院として独立
28年 4月 国立畠賀療養所と改称
49年 4月 国立療養所畠賀病院と改称
平成 13年12月 広島市に移譲、市は病院運営を広島市
　　医師会に管理委託し、広島市医師会運営・
　　安芸市民病院として運営



独立行政法人国立病院機構
東広島医療センター

National Hospital Organization Higashihiroshima Medical Center

シンボルマークのコンセプト



大切なのちを
愛・誠実・親切・奉仕の
チーム医療で見守る

森を緑のハートで、池を青のハートで、
夕焼けをオレンジの楕円で表現しています。

■山陽自動車道からお越しの場合

西条インターチェンジから(約7km)約20分
志和インターチェンジから(約9km)約20分
広島空港から山陽自動車道経由 車で約30分

■JR山陽新幹線・東広島駅からバスでお越しの場合

1番乗り場 JRバス 西条駅・竹原駅・市飯田方面
※西条駅でバスをお乗り換えください。

■JR山陽本線・寺家駅からお越しの場合

JRバス 東広島医療センター行きのバスにお乗りください。
芸陽バス 豊栄行きのバスにお乗りください。
所要時間:約6分
徒歩:15分

〒739-0041 広島県東広島市西条町寺家513番地
TEL082-423-2176 FAX082-422-4675
ホームページ <http://www.hiro-hosp.jp/>